

事業開始前の様子 ウラテンガ村、ダボクリ村



写真1 ウラテンガ_施工前(3月撮影)

乾季の施工前の様子。雨季には最大で水深1.5mほどの河川となる。雨季初期に通行するために、住民により石が積まれている。



写真2 ウラテンガ_デモ実施(3月撮影)

雨季に冠水する箇所100mに対して最大1.5mの盛土をデモンストレーションとして地域住民とともに施工を行った。



写真3 ウラテンガ_デモ終了時(3月撮影)

日本人滞在時には全体の50%の施工を終了させ、残り施工に関しては住民のみで実施することとした。



写真4 ウラテンガ_デモ終了後(7月撮影)

完工前(80%終了)に雨季が始まり、2度渡る鉄砲水により半分以上が崩壊したが、バイクの通行は可能で使用されている。



写真5 ダボクリ_住民会議(8月撮影)

本事業参加についての第2回住民会議の様子。村長、長老グループから女性グループまで様々なアクターが参加した。



写真6 ダボクリ_施工地点(8月撮影)

雨季初期の施工地点の様子。雨季には広範囲が浸水され、多くの車両の通行が困難になる。



写真7 ダボクリ_施工地点(8月撮影)

写真の左側にはため池、右側に河川があり、雨季にはこれが繋がり、ため池の農業用水が排出される問題もある。



写真8 ダボクリ_その他浸水地点(8月撮影)

施工地点以外にも、大小様々な雨季に道路が遮断される地点が存在している。